



柴田是真《墨林筆哥》(部分) 1877-88 (明治10-21) 年 紙本・漆絵 山種美術館

第 124 期

2022年4月1日～2023年3月31日

株 主 通 信

株式会社ヤマタネ

証券コード：9305



株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

ここに第124期（2022年4月1日から2023年3月31日まで）の株主通信をお届けするにあたり、決算概況につきましてご報告申し上げます。

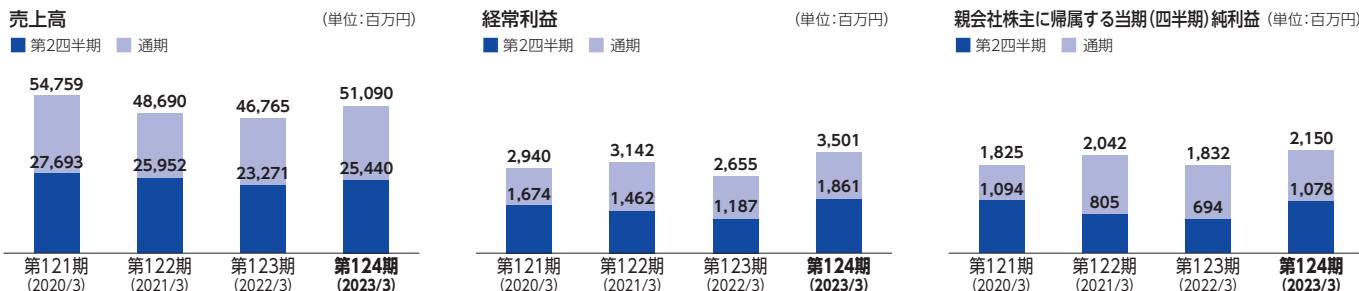
第124期（2023年3月期）実績について

第124期におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症への行動制限が緩和され、社会経済活動の正常化が進む中、緩やかな景気の持ち直しの動きがみられました。一方でウクライナ情勢の長期化や資源価格の高騰に伴う物価上昇、急激な円安等、先行き不透明な状況が続いております。

このような状況下におきまして、当期の連結業績は、物流部門では国内物流の荷動きは回復基調となり、国際物流においても取扱い件数は前期を上回りました。また、昨年4月に100%連結子会社となった(株)シンヨウ・ロジも業績に寄与いたしました。食品部門でも外食需要の回復や取引先シェアの拡大により販売数量が増加し、棚卸資産評価損の計上も大幅に減少いたしました。不動産部門では一昨年8月に開業したKABUTO ONEが通年で業績に寄与いたしました。

この結果、売上高は510億90百万円（前期比9.2%増）となり、営業利益は35億88百万円（同19.5%増）となりました。経常利益は受取配当金の増加や支払利息の減少等があり35億1百万円（同31.9%増）となり、親会社株主に帰属する当期純利益は投資有価証券売却益の減少等がありましたが21億50百万円（同17.3%増）となりました。業績計画に対しましては、売上高は、僅かながら業績計画を下回りました。

連結業績ハイライト



したが、利益面においては、全ての項目で業績計画を上回りました。

2 中期経営計画への取組と第125期(2024年3月期)の展望

当社グループは、昨年公表した中期経営計画「ヤマタネ2025プラン」の最終年度にあたる2025年3月期に創業100周年を迎えます。当中期経営計画ではスローガンを「創業100周年に向け豊かな社会づくりにチャレンジしていく」とし、実行にあたっての方針を①事業活動を「チャレンジ領域」と「コア事業領域」に分け、経営資源を適切に配分し規模を最適化することにより効果的な業務推進を実施する②環境に配慮した事業活動を推進し、社会に安心と安全、効率性を提供する③これまで築いてきた資本（財務、製造、知的、人的、社会関係、自然）を基盤に、長期的な展望に基づいた事業展開を行うとしております。中期経営計画の2年目にあたる2024年3月期では、中期経営計画の達成に向けて、「チャレンジ領域」の取組を加速すべく事業戦略部を新設し、新規ビジネスに関連したM&Aや業務提携等の検討を行い着実に推進してまいります。当社が所在する越中島開発計画につきましては、CRE戦略の観点を持って経済的価値と社会的価値を両立する開発計画の検討を推進してまいります。「コア事業領域」としましては、横浜市の本牧埠頭に2024年6月の竣工を目指して新倉庫の建設に着工いたしました。コンテナによる輸出入貨物取扱い拠点、加えて流通加工や配送センターとしての機能を持つ倉庫となります。更に、グループ全体の情報システムの最適化を図り、グループ業務の効率化（守りのDX）と付加価値の向上（攻めのDX）を推進すべくデジタル推進本部を新設いたしました。また、経営戦略の

実行をより確実にするため、人材育成のための充実した研修制度の構築、外部人材の採用、エンゲージメント向上への取組等、人的資本投資を拡充してまいります。2023年6月21日開催の定時株主総会におきまして、株主の皆様のご承認をいただき、監査等委員会設置会社へ移行いたしました。更に監督機能の強化と経営のスピードアップを図ってまいります。

2024年3月期の連結業績予想につきましては、売上高は535億円（前期比4.7%増）を予想し、営業利益は31億40百万円（同12.5%減）、経常利益は31億円（同11.5%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は22億円（同2.3%増）を予想しております。売上高につきましては、食品部門における販売数量の増加と取引価格の上昇を見込み増収の計画ですが、営業利益及び経常利益は、電力料等の諸経費の増加、人的資本投資の拡充による研修費用等の人件費の増加、DX推進及び情報セキュリティ対応等のIT投資の拡充等、将来に向けた基盤整備のための各種投資があり、減益の計画を予想しております。親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、固定資産売却益の計上により増益を予想しております。

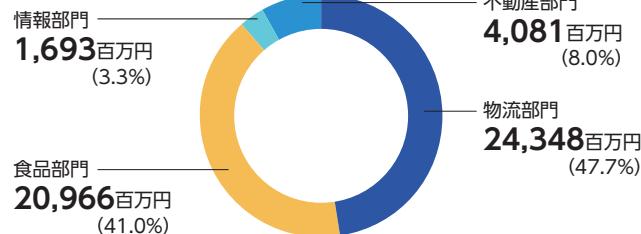
株主の皆様におかれましては、何卒一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2023年6月

代表取締役社長

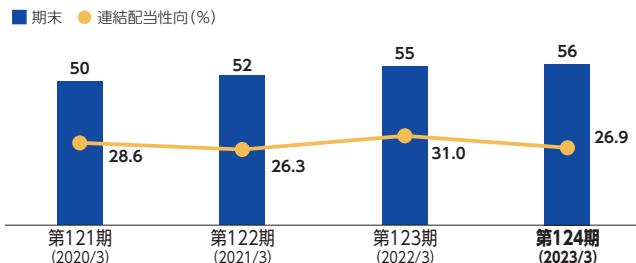
山崎元裕

セグメント別売上高



配当金/連結配当性向の推移

(単位:円)

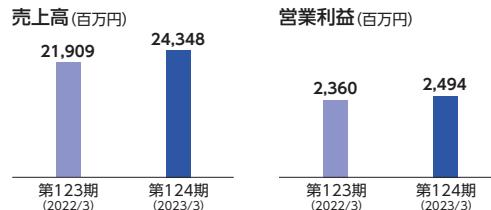


安定配当の基本方針を維持しながら株主の皆様への利益還元を強化するため「累進配当」を行うこととしております。

物流部門

■ 売上高 **24,348**百万円 ■ 営業利益 **2,494**百万円

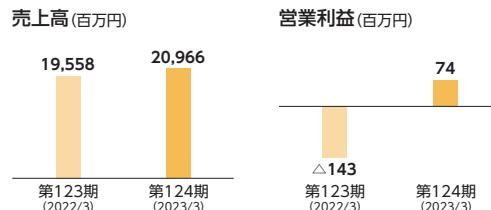
国内物流では、新型コロナウイルス感染症への行動制限の緩和により業務用飲料の荷動きが回復基調となり、更に前期獲得した新規顧客も通年で寄与いたしました。また、既存顧客では、安定的な供給体制確保のため保管在庫が増加する傾向がみられ、倉庫事業における入庫高、保管残高は前期を上回りました。国際物流においても行動制限の緩和が進む中、海外引越を中心に取扱い案件は前期を上回って推移いたしました。また、昨年4月に100%連結子会社となりました(株)シンヨウ・ロジも業績に寄与いたしました。この結果、売上高は243億48百万円(前期比11.1%増)となり、営業利益は24億94百万円(同5.7%増)となりました。



食品部門

■ 売上高 **20,966**百万円 ■ 営業利益 **74**百万円

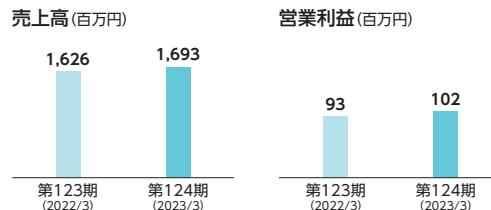
食品部門は、行動制限の緩和が進み、外食業界の需要が回復基調となり、更に量販店向けの販売シェアの拡大等もあり精米販売は62千玄米トン(前期比10.9%増)となりました。玄米販売については、一般小売店や他卸売業者が米価の先高感を受けて調達を積極的に行ったこと等により24千玄米トン(同11.0%増)となり、総販売数量は86千玄米トン(同10.9%増)となりました。この結果、売上高は209億66百万円(前期比7.2%増)となりました。営業利益は昨年2月に稼働した印西精米センターの減価償却費の費用増の影響はありましたが、生産効率は向上し、更に棚卸資産評価損が大幅に減少したこともあり、74百万円(前期は1億43百万円の損失)となりました。



情報部門

■ 売上高 **1,693**百万円 ■ 営業利益 **102**百万円

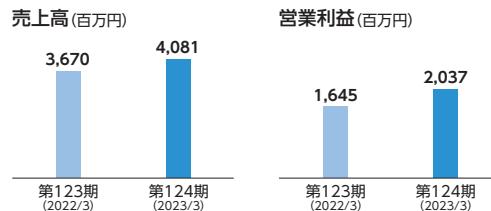
情報部門は、棚卸機器レンタル事業においては、モバイルアプリによるサービスへの転換を進めましたが、顧客の店舗削減等の影響を受けて売上高は減少することとなりました。一方で、常駐型ビジネスでは汎用機基盤の開発や運用業務の新規獲得、拡大等があり、部門全体の売上高は16億93百万円(前期比4.1%増)となりました。また、営業利益は開発の内製化を進めたことや前期に実施したグループシステム基盤構築のシステム投資費用の費用減もあり1億2百万円(同9.4%増)となりました。



不動産部門

■ 売上高 **4,081**百万円 ■ 営業利益 **2,037**百万円

不動産部門は、期中に一部テナントの退去がありましたが、テナント誘致を積極的に進めたことにより高稼働率を維持いたしました。また、一昨年8月に開業した兜町再開発案件「KABUTO ONE」が通年で業績に寄与いたしました。この結果、売上高は40億81百万円(前期比11.2%増)となり、営業利益は20億37百万円(同23.8%増)となりました。



本牧埠頭（A突堤）における新倉庫建設に関するお知らせ

当社グループは、中期経営計画「ヤマタネ2025プラン」において、物流部門でのコア事業領域の収益力向上を目的に新倉庫の開設を掲げており、このたび横浜市の本牧埠頭（A突堤）に新倉庫を建設することといたしました。

新倉庫を建設する本牧埠頭は、国際戦略港湾である横浜港の約6割のコンテナを取扱う主力港であるとともに、立地は首都圏へのアクセスに優れております。今後、輸出入貨物量の増加が見込まれる中で、新倉庫は輸出入貨物取扱い拠点としてご利用いただけるとともに、流通加工・小口配送等の配送センターとしてもご利用いただけます。また、定温空調設備を備え多品種貨物の保管ニーズにも対応してまいります。



所在地	神奈川県横浜市中区本牧ふ頭7、8
敷地面積	7,919.50㎡ (2,395.65坪)
延床面積	19,584.00㎡ (5,924.16坪)
構造	鉄骨・鉄筋造 地上4階建
着工年月	2023年3月
竣工年月	2024年6月（予定）

株主優待アンケート 結果について

昨年秋に株主の皆様にお送りさせていただいたアンケートについて、主な集計結果をご報告いたします。

【回答率】 14.9%

【ご関心度が高いトレース情報について】（複数回答可）

- 1位 品質管理（46.9%） 2位 防除（病害虫・雑草）（38.6%）
3位 保管管理（36.7%）

【米袋のデザインについて】

- 表面がデザイン絵のみの商品を店頭で
購入する（29.0%）／購入しない（70.0%）／不明（1.0%）

【お米の販売容器について】

- 中身が見えない紙製の容器で 購入する（69.1%）／購入しない（30.9%）

また、自由記述欄では、様々なご意見をお寄せいただきました。皆様からいただきました貴重なご意見は、今後の事業活動に活かしてまいります。ご協力いただいた皆様、誠にありがとうございました。

今後ともヤマタネをよりよくお願い申し上げます。



▲「厳選こだわり米」をお届けした株主様を対象に、2022年11月頃からアンケート調査にご協力いただきました。

2030年サステナビリティ目標の達成に向けた取組

当社グループは、サステナビリティに関して6つの重点テーマを掲げております。そのうち、「環境に配慮した事業活動の推進」と「持続可能なコメ調達の推進」のテーマにおいて、本年度に次の取組を開始いたしましたので、ご報告させていただきます。

環境に配慮した 事業活動の推進

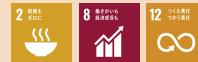


- 温室効果ガス排出量削減
- エネルギー使用量の削減
- 廃棄物及び有害物質の管理

2030年
目標

GHG排出量削減 2013年度対比 ▲50%以上

持続可能なコメ調達の推進



- 持続可能な材料調達と効率的な使用

2030年
目標

産地のブランド化による持続的営農の実現

持続可能なコメ調達の推進



「続く」を支える。

ヤマタネ



● 人材支援会社との提携

2022年12月、第一次産業の人材支援事業等を展開し産地での農業人材不足の課題解決に積極的に取り組んでいるYUIME株式会社と資本業務提携を締結いたしました。

当社グループは、「ヤマタネ2031ビジョン」において「持続可能な営農に向けた産地連携の強化」を目標としており、両社の持つ経営資源を活用して、新たなビジネスモデルや新サービスまたは新製品、新技術等の開発ならびに開拓を行ってまいります。



● 太陽光パネル設置

印西精米センター及び印西アーカイブズセンターの屋根に太陽光パネルを合計2,268枚設置し、発電した電力の全量を同2つのセンターに供給します。本設備のパネル容量は1,224kW、年間想定発電量1,114MWhの電力を供給することが可能となり、年間で509トンのCO₂排出を削減できる見込みです。



● 精米過程で発生したとぎ汁の再利用

印西精米センターにおいて、無洗米の製造過程で発生する排水を養豚飼料の原料として有限会社ブライトピック千葉へ提供しております。養豚飼料の原料として再利用することで、廃棄処理エネルギーとCO₂の削減、循環型社会へ寄与しています。

近代以降の日本画の歴史は、時代にふさわしい絵画を常に追い求めてきた画家たちの歴史でもあります。明治時代に入り、西洋文化を取り入れ、社会の近代化が進む中、西洋画に匹敵、あるいは凌駕する新たな日本の絵画を生み出そうと、画家たちは模索を続けました。さらに、大正・昭和時代を迎えると、政府主導の官展、および日本画壇の中心にいた院展に対抗しようとする画家たちが登場します。そして戦後には敗戦の影響もあり、既存の日本画に対する価

値観が社会的に問い直される中、画家たちは強い危機感と葛藤を抱きながら伝統と向きあい、逆境を乗り越えようと、様々な表現や技法を重ねました。

本展では、明治時代から現代にいたる時代の局面に際し、新たな日本画の創造に挑んだ名だたる精鋭たちの優品を、昭和45年代以降、登龍門の存在であった山種美術館賞受賞作品を含め展示します。これら多彩な作品を通し、新たな日本画の創造に挑んだ精鋭たちの軌跡をご覧ください。

展覧会名 【特別展】日本画に挑んだ精鋭たち
—菱田春草、上村松園、
川端龍子から松尾敏男へ—

お問い合わせ 050-5541-8600 (ハローダイヤル)

U R L <http://www.yamatane-museum.jp/>

会期 2023年7月29日(土)～9月24日(日)

会場 山種美術館

主催 山種美術館、朝日新聞社

開館時間 午前10時～午後5時
(入館は閉館時間の30分前まで)

休館日 月曜日
[9/18(月)は開館、9/19(火)は休館]

入館料 一般1,400円・中学生以下無料(付添者の同伴が必要です)
【夏の学割】大学生・高校生500円
※本展に限り、通常1,100円のところ割引。
入館日時のオンライン予約ができます
(詳細は当館Webサイトをご覧ください)。

今後の展覧会

【特別展】
日本画聖地巡礼
—東山魁夷の京都、奥村土牛の鳴門— (仮称)
2023年9月30日(土)～11月26日(日)

● 株主優待

基準日	保有株数	継続保有期間	優待内容
9月末日	100株以上	—	山種美術館カレンダー1部 贈呈
3月末日	300株以上	—	当社製品プレミアム米2キロ 贈呈
3月末日	300株以上	5年以上(*)	厳選こだわり米2キロ 贈呈

(*) 5年以上継続保有の株主様とは、3月末と9月末の株主名簿に連続して11回以上、同一株主番号で記載された株主様といたします。

(*) 3単元(300株)以上の株式を5年以上継続して保有している株主様は、プレミアム米2キロに加え、厳選こだわり米2キロの合計4キロを贈呈いたします。

● 株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 毎年6月開催
基準日 定時株主総会 毎年3月31日
期末配当金 毎年3月31日
中間配当金 毎年9月30日
そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日

株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
事務取扱場所 (郵便物送付先) 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(インターネット) <https://www.smtb.jp/home/page/jurl>

単元株式数 100株

公告の方法 当社のホームページに掲載する。
<https://www.yamatane.co.jp/>
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して公告する。

(電話照会先) ☎ 0120-782-031

上場証券取引所 東京証券取引所

株式に関する住所変更等のお手続きおよびご照会について

証券会社の口座をご利用の株主様は、三井住友信託銀行株式会社ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。
証券会社の口座をご利用でない株主様は、上記の電話照会先までご連絡ください。

特別口座について

株券電子化前に「はふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といひます)を開設しております。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。